

## DX時代の著作権制度・政策の見直しに向けて

### 1. 背景

- デジタル化・ネットワーク化に伴う著作物の創作・流通・利用を巡る環境の変化  
著作権法は累次の改正が行われてきたが、DX時代における、プロとアマチュアの境界の低下、アウトオブコマースの作品や一般ユーザーが創作する作品の増加等に対応する著作権制度・政策の在り方を見直す必要
- 我が国の文化の振興を図るためのコンテンツ創作の好循環の実現  
クリエイターが良質な作品を創作し続けることができるよう、DX時代の著作権侵害対応、クリエイターへの適切な対価還元を根本的に考え直す時期の到来
- 文化庁では、研究者・権利者・コンテンツユーザー、ICT関係者、経済団体等、幅広い関係者から意見を聴取しながら、今後の検討の方向性や課題について議論

### 2. 主な検討事項

- <DX時代に対応した著作物の利用円滑化・適切な対価還元を目指して>
  - 著作権者へのアクセスが難しく権利処理が困難になりやすいコンテンツの利用場面に即して簡素で一括的に権利処理できる方策の検討  
(権利者の情報・意思を集約するデータベースの構築、集中管理の促進、裁定制度の抜本的見直し、いわゆる拡大集中許諾制度、権利制限等の各種方策を総合的に検討)
  - その他、立法・行政府等のDXの基盤整備の観点からの検討
- <DX時代に対応した著作物の権利保護・適切な対価還元を目指して>
  - DX時代に起こり得る多様な著作権侵害に対する実効的救済  
(正規の流通の促進、政府機関・国際機関との連携による海賊版対策等)
  - コンテンツ利用に伴う利益還元支援、人材育成
  - プラットフォームサービスの急速な発展に伴ういわゆるバリューギャップへの対応
  - 利用の萎縮を回避するための著作権制度の普及・啓発・教育

### 3. 工程

- 令和3年夏に、文化審議会への諮問予定。
- 夏から秋にかけ、国民的議論となるよう、権利者からいわゆる「Z世代」のユーザーまでのきめ細やかなヒアリングを通じ、幅広く意見を収集。
- 「簡素で一括的な権利処理方策の検討」については、年内を目途に、収集した意見をもとに、ユーザーのニーズ、権利者の意向を踏まえ、対応策を整理し、一定の方向性の打ち出し。
- 令和4年度、実社会での運用やソフトローの活用、実現可能性と実効性のある制度も視野に、ユーザーや多様な関係者の合意が得られる方策を策定。